

ワールド・ウォーター・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第18期(決算日2022年4月11日)

作成対象期間(2021年4月13日～2022年4月11日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2004年3月26日から2024年4月10日までです。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。実質的な株式の投資にあたっては、世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。	
主な投資対象	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	ワールド・ウォーター・ファンド Aコース/Bコース ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税金	み騰	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
14期(2018年4月10日)	20,019	600	4.9	230.04	9.1	97.9	—	1,758
15期(2019年4月10日)	20,542	650	5.9	246.72	7.3	98.3	—	1,664
16期(2020年4月10日)	19,390	550	△ 2.9	230.37	△ 6.6	96.0	—	3,137
17期(2021年4月12日)	25,985	1,200	40.2	337.26	46.4	97.4	—	3,251
18期(2022年4月11日)	26,189	1,200	5.4	362.12	7.4	98.6	—	3,409

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2021年4月12日	25,985	—	337.26	—	97.4	—
4月末	26,821	3.2	341.97	1.4	96.5	—
5月末	27,051	4.1	344.00	2.0	98.8	—
6月末	27,312	5.1	352.02	4.4	99.2	—
7月末	28,656	10.3	359.38	6.6	97.5	—
8月末	29,666	14.2	367.96	9.1	98.1	—
9月末	28,139	8.3	356.46	5.7	98.8	—
10月末	29,504	13.5	373.12	10.6	98.1	—
11月末	30,245	16.4	373.76	10.8	97.2	—
12月末	31,301	20.5	384.08	13.9	99.0	—
2022年1月末	27,527	5.9	357.76	6.1	99.5	—
2月末	26,812	3.2	354.59	5.1	98.1	—
3月末	27,561	6.1	369.91	9.7	99.0	—
(期末)						
2022年4月11日	27,389	5.4	362.12	7.4	98.6	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Bコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
14期(2018年4月10日)	円 21,869	円 700	% 5.6	287.66	% 9.8	% 98.5	% —	百万円 6,397
15期(2019年4月10日)	23,126	750	9.2	318.89	10.9	99.2	—	6,334
16期(2020年4月10日)	21,293	650	△ 5.1	293.90	△ 7.8	95.3	—	7,190
17期(2021年4月12日)	29,769	1,200	45.4	447.03	52.1	98.1	—	9,211
18期(2022年4月11日)	33,493	1,500	17.5	535.27	19.7	97.8	—	11,100

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
*MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
(出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2021年4月12日	円 29,769	% —	447.03	% —	% 98.1	% —
4月末	30,664	3.0	452.29	1.2	95.7	—
5月末	31,250	5.0	459.15	2.7	97.8	—
6月末	31,577	6.1	470.34	5.2	98.7	—
7月末	32,866	10.4	475.86	6.4	98.2	—
8月末	34,055	14.4	487.89	9.1	98.4	—
9月末	32,706	9.9	478.80	7.1	97.7	—
10月末	34,980	17.5	511.08	14.3	97.6	—
11月末	35,568	19.5	508.35	13.7	97.9	—
12月末	37,293	25.3	528.88	18.3	97.6	—
2022年1月末	32,846	10.3	492.48	10.2	98.5	—
2月末	32,056	7.7	489.07	9.4	98.5	—
3月末	34,740	16.7	539.55	20.7	99.4	—
(期末) 2022年4月11日	34,993	17.5	535.27	19.7	97.8	—

*期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

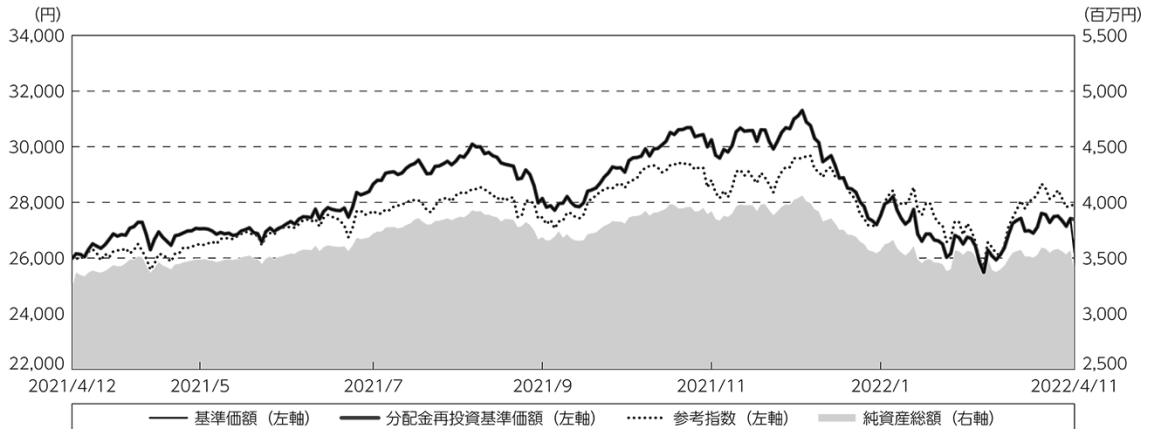
*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：25,985円

期 末：26,189円 (既払分配金(税込み)：1,200円)

騰落率： 5.4% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年4月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2021年4月12日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首25,985円から期末26,189円となりました。

(上昇)

- ・2021年4月、欧米企業の1-3月期決算が好調であったことや、ECB(欧州中央銀行)が金融緩和策の維持を決定したこと。
- ・10月、新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したことや、米与野党が連邦政府の債務上限問題の先送りで合意し、当面の懸念が後退したこと。
- ・2022年3月、FOMC(米連邦公開市場委員会)が市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定し重要イベントを通過したことや、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったこと。

<Aコース>

(下落)

- ・ 2021年9月、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や、中国の大手不動産会社の債務問題などで投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・ 2022年1月、FOMCで2022年3月の利上げ開始が示唆され、金融引き締めに向きを示されたこと。
- ・ 2月、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。

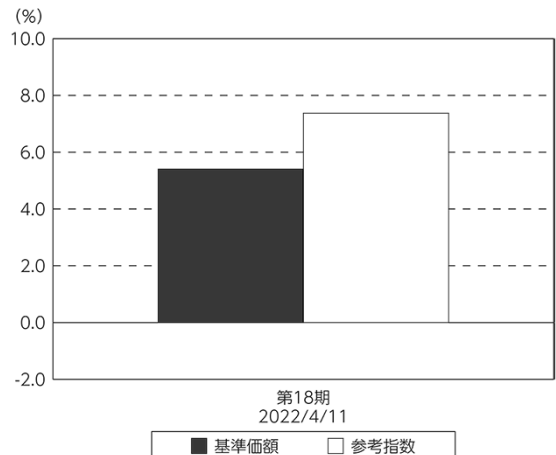
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）の7.4%の上昇に対し、基準価額は5.4%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）とは異なった動きをしています。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円ヘッジベース）です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Aコースで1万口当たり1,200円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第18期
	2021年4月13日～ 2022年4月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,200 4.381%
当期の収益	1,149
当期の収益以外	50
翌期繰越分配対象額	16,189

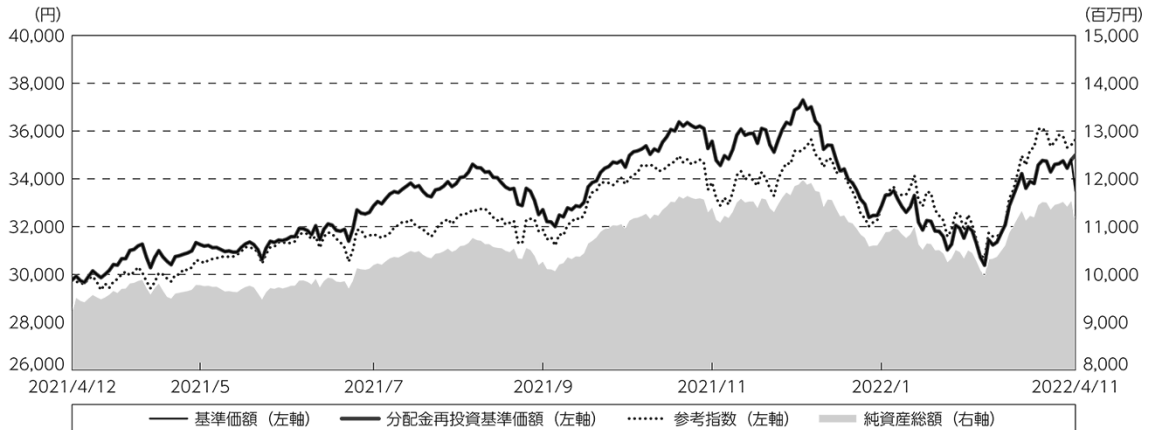
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：29,769円

期末：33,493円 (既払分配金(税込み)：1,500円)

騰落率：17.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年4月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2021年4月12日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首29,769円から期末33,493円となりました。

(上昇)

- ・2021年4月、欧米企業の1-3月期決算が好調であったことや、ECB(欧州中央銀行)が金融緩和策の維持を決定したこと。
- ・10月、新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したことや、米与野党が連邦政府の債務上限問題の先送り合意し、当面の懸念が後退したこと。
- ・2022年3月、FOMC(米連邦公開市場委員会)が市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定し重要イベントを通過したことや、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったこと。

<Bコース>

(下落)

- ・2021年9月、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や、中国の大手不動産会社の債務問題などで投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・2022年1月、FOMCで2022年3月の利上げ開始が示唆され、金融引き締めに向向きの方針が示されたこと。
- ・2月、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。

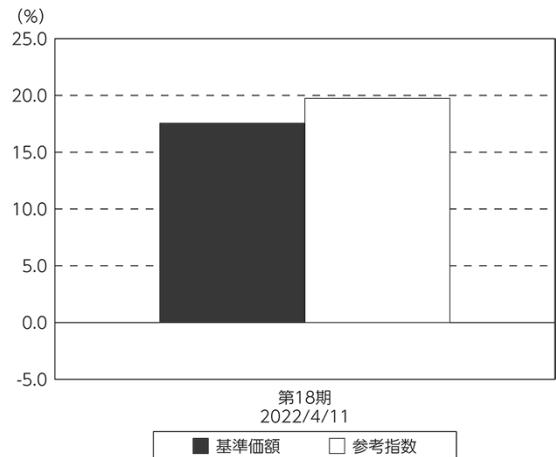
○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の19.7%の上昇に対し、基準価額は17.5%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしておりません。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、Bコースで1万口当たり1,500円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第18期
	2021年4月13日～ 2022年4月11日
当期分配金 (対基準価額比率)	1,500 4.287%
当期の収益	1,500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	23,493

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

期中の世界株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やワクチン接種の進展状況、および各国の金融・財政政策の行方などに左右される展開となりましたが、上昇しました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース] および [ワールド・ウォーター・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ②「装置製造・エンジニアリングセクター」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、継続的な利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③上下水道ビジネスセクターについては、地方自治体の上下水道インフラの長期的更新への高い需要など水道公益関連市場の拡大や、経済再生に伴う廃棄物処理事業の成長が寄与すると見込まれる銘柄などに投資しました。
 - ④環境マネジメント・サービスセクターの銘柄の組み入れ比率を上げました。
 - ⑤水関連事業の比率が高く、健康や人口増加、産業の発展に焦点を当て、汚染化学物質の浄化に優位性がある米国の水処理装置やサービスを提供する企業を新規に組み入れました。一方で、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）やバリュエーションなどの観点から装置製造・エンジニアリングセクターに属する、米国の上下水道関連会社の株式を一部売却しました。

<Aコース/Bコース>

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

<Aコース/Bコース>

◎今後の運用方針

[ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド]

2022年の見通しについては、ロシアのウクライナ侵攻による地政学的リスクの高まりやロシアに対する各国の制裁措置などから、これまでのインフレ傾向に加えて、原油など原材料を含めた物価上昇が続くなど、政治的にも経済的にも不透明感が増しています。世界各国のPMI（購買担当者景気指数）や企業の景況感に対して、与える影響を予測しにくい状況が当面続くものと思われまます。価格上昇圧力の持続性、FRB（米連邦準備制度理事会）やECBによる金融緩和策縮小や利上げのタイミングや程度、さらにそれらが株式のバリュエーションに与える影響等を注視して参ります。

一方で、昨年からの動向として、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展などに伴う経済活動の再開の動きから、主要国の経済指標や企業の景況に改善が見られ、今後の市場の下支えとなると考えています。今後は、ウクライナ情勢、FRBやECBの金融政策動向、経済指標や企業決算などをにらみつつ、株式市場は当面不安定な状況が続くと見られ、その動きを慎重に見極めていく必要があります。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

[ワールド・ウォーター・ファンド Aコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[ワールド・ウォーター・ファンド Bコース]

主要投資対象である [ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行なわない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしく願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月13日～2022年4月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 529	% 1.865	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(280)	(0.987)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(218)	(0.768)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(31)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(4)	(0.014)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	8	0.030	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(7)	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	544	1.921	
期中の平均基準価額は、28,382円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

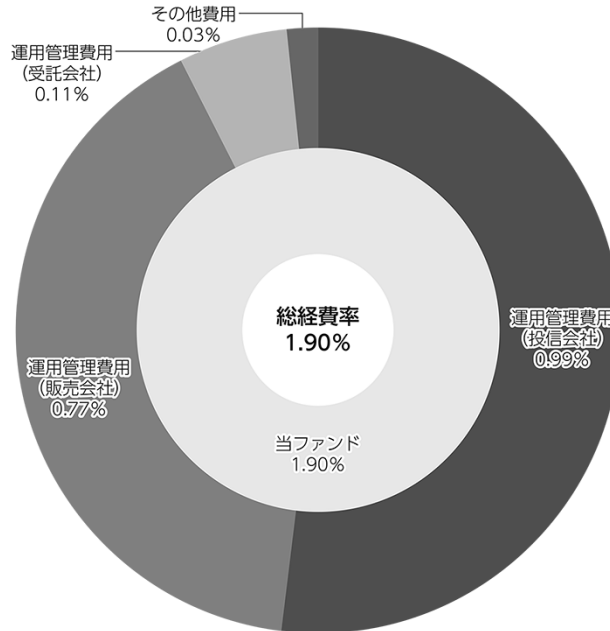
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2021年4月13日～2022年4月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 95,428	千円 714,300	千口 148,809	千円 1,152,500

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2021年4月13日～2022年4月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,004,887千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,048,329千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月13日～2022年4月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年4月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 470,162	千口 416,782	千円 3,416,237

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Aコース>

○投資信託財産の構成

(2022年4月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	3,416,237	90.9
コール・ローン等、その他	343,620	9.1
投資信託財産総額	3,759,857	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（15,009,370千円）の投資信託財産総額（15,388,619千円）に対する比率は97.5%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=124.63円、1カナダドル=98.96円、1英ポンド=162.36円、1スイスフラン=133.37円、1スウェーデンクローナ=13.21円、1デンマーククローネ=18.25円、1ユーロ=135.76円、1香港ドル=15.90円、1ウォン=0.1013円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年4月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,886,801,848
コール・ローン等	152,819,384
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	3,416,237,929
未収入金	3,317,744,535
(B) 負債	3,477,605,043
未払金	3,286,172,188
未払収益分配金	156,211,608
未払解約金	336,434
未払信託報酬	34,823,003
未払利息	418
その他未払費用	61,392
(C) 純資産総額(A-B)	3,409,196,805
元本	1,301,763,404
次期繰越損益金	2,107,433,401
(D) 受益権総口数	1,301,763,404口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,189円

(注) 期首元本額は1,251,407,007円、期中追加設定元本額は226,596,308円、期中一部解約元本額は176,239,911円、1口当たり純資産額は2,6189円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額98,921,121円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況

(2021年4月13日～2022年4月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 39,511
支払利息	△ 39,511
(B) 有価証券売買損益	218,365,378
売買益	755,800,583
売買損	△ 537,435,205
(C) 信託報酬等	△ 68,676,207
(D) 当期損益金(A+B+C)	149,649,660
(E) 前期繰越損益金	589,955,177
(F) 追加信託差損益金	1,524,040,172
(配当等相当額)	(1,127,181,906)
(売買損益相当額)	(396,858,266)
(G) 計(D+E+F)	2,263,645,009
(H) 収益分配金	△ 156,211,608
次期繰越損益金(G+H)	2,107,433,401
追加信託差損益金	1,524,040,172
(配当等相当額)	(1,127,922,207)
(売買損益相当額)	(396,117,965)
分配準備積立金	583,393,229

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2021年4月13日～2022年4月11日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年4月13日～ 2022年4月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	47,243,949円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	102,405,711円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,524,040,172円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	589,955,177円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	2,263,645,009円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	17,389円
g. 分配金	156,211,608円
h. 分配金(1万円当たり)	1,200円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	1,200円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月13日～2022年4月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	623	1.865	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(330)	(0.987)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(256)	(0.768)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(37)	(0.110)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.014	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(5)	(0.014)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(4)	(0.012)	
(d) そ の 他 費 用	10	0.029	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.025)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(1)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	642	1.920	
期中の平均基準価額は、33,383円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

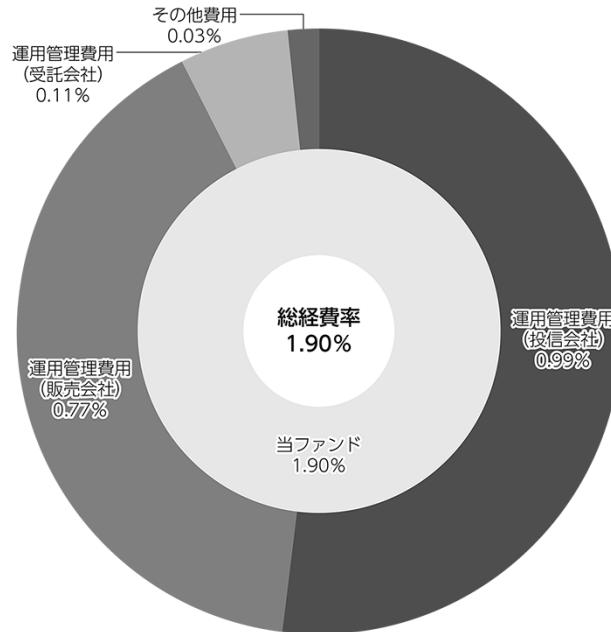
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.90%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2021年4月13日～2022年4月11日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 193,374	千円 1,479,000	千口 188,738	千円 1,449,500

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2021年4月13日～2022年4月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	6,004,887千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,048,329千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42	

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月13日～2022年4月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年4月11日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	千口 1,341,712	千口 1,346,348	千円 11,035,615

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Bコース>

○投資信託財産の構成

(2022年4月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド	11,035,615	94.3
コール・ローン等、その他	666,663	5.7
投資信託財産総額	11,702,278	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（15,009,370千円）の投資信託財産総額（15,388,619千円）に対する比率は97.5%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=124.63円、1カナダドル=98.96円、1英ポンド=162.36円、1スイスフラン=133.37円、1スウェーデンクローナ=13.21円、1デンマーククローネ=18.25円、1ユーロ=135.76円、1香港ドル=15.90円、1ウォン=0.1013円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年4月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	11,702,278,234
コール・ローン等	3,362,435
ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド(評価額)	11,035,615,799
未収入金	663,300,000
(B) 負債	602,062,031
未払収益分配金	497,123,592
未払解約金	1,065,044
未払信託報酬	103,690,464
未払利息	9
その他未払費用	182,922
(C) 純資産総額(A-B)	11,100,216,203
元本	3,314,157,286
次期繰越損益金	7,786,058,917
(D) 受益権総口数	3,314,157,286口
1万口当たり基準価額(C/D)	33,493円

(注) 期首元本額は3,094,193,837円、期中追加設定元本額は471,644,578円、期中一部解約元本額は251,681,129円、1口当たり純資産額は3,3493円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額98,921,121円。(ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド)

○損益の状況

(2021年4月13日~2022年4月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 101,838
支払利息	△ 101,838
(B) 有価証券売買損益	1,782,174,540
売買益	1,836,228,612
売買損	△ 54,054,072
(C) 信託報酬等	△ 197,297,677
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,584,775,025
(E) 前期繰越損益金	2,541,282,572
(F) 追加信託差損益金	4,157,124,912
(配当等相当額)	(2,477,016,268)
(売買損益相当額)	(1,680,108,644)
(G) 計(D+E+F)	8,283,182,509
(H) 収益分配金	△ 497,123,592
次期繰越損益金(G+H)	7,786,058,917
追加信託差損益金	4,157,124,912
(配当等相当額)	(2,478,760,849)
(売買損益相当額)	(1,678,364,063)
分配準備積立金	3,628,934,005

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2021年4月13日～2022年4月11日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2021年4月13日～ 2022年4月11日
a. 配当等収益(経費控除後)	172,371,960円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	1,412,403,065円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,157,124,912円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,541,282,572円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	8,283,182,509円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	24,993円
g. 分配金	497,123,592円
h. 分配金(1万円当たり)	1,500円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	1,500円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

ワールド・ウォーター・ファンド マザーファンド

運用報告書

第18期（決算日2022年4月11日）

作成対象期間（2021年4月13日～2022年4月11日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 世界の水関連企業の株式を主体に、空気関連企業の株式も加えて投資を行なうことを基本とします。銘柄選定にあたっては、これらの投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーションを勘案して投資銘柄を選定します。 株式の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	世界の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI World Index Free (円換算ベース)	MSCI World Index Free (現地通貨ベース)			
14期(2018年4月10日)	42,766	7.6	287.66	9.8	98.6	—	8,137
15期(2019年4月10日)	47,544	11.2	318.89	10.9	99.3	—	7,972
16期(2020年4月10日)	46,015	△ 3.2	293.90	△ 7.8	96.7	—	10,200
17期(2021年4月12日)	68,345	48.5	447.03	52.1	98.5	—	12,383
18期(2022年4月11日)	81,967	19.9	535.27	19.7	98.4	—	14,451

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース))は、MSCI World Index Free (現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。
 *MSCI World Index Free (現地通貨ベース)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
 (出所: MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

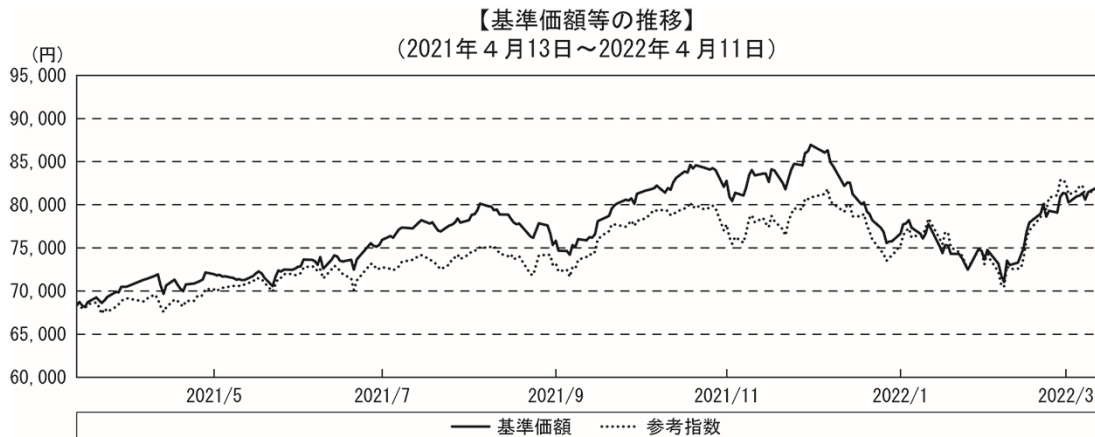
年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI World Index Free (円換算ベース)	MSCI World Index Free (現地通貨ベース)		
(期首) 2021年4月12日	68,345	—	447.03	—	98.5	—
4月末	70,495	3.1	452.29	1.2	96.6	—
5月末	71,962	5.3	459.15	2.7	98.4	—
6月末	72,829	6.6	470.34	5.2	99.3	—
7月末	75,939	11.1	475.86	6.4	98.6	—
8月末	78,827	15.3	487.89	9.1	98.8	—
9月末	75,810	10.9	478.80	7.1	97.9	—
10月末	81,258	18.9	511.08	14.3	98.5	—
11月末	82,776	21.1	508.35	13.7	98.6	—
12月末	86,945	27.2	528.88	18.3	98.2	—
2022年1月末	76,652	12.2	492.48	10.2	98.9	—
2月末	74,901	9.6	489.07	9.4	98.7	—
3月末	81,305	19.0	539.55	20.7	99.5	—
(期末) 2022年4月11日	81,967	19.9	535.27	19.7	98.4	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー (円換算ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首68,345円から期末81,967円となりました。

(上昇)

- ・ 2021年4月、欧米企業の1-3月期決算が好調であったことや、ECB（欧州中央銀行）が金融緩和策の維持を決定したこと。
- ・ 10月、新型コロナウイルスの経口治療薬の早期実用化への期待が台頭したことや、米与野党が連邦政府の債務上限問題の先送りで合意し、当面の懸念が後退したこと。
- ・ 2022年3月、FOMC（米連邦公開市場委員会）が市場予想と同じく0.25%の政策金利引き上げを決定し重要イベントを通過したことや、ロシアとウクライナの停戦交渉進展への期待が高まったこと。

(下落)

- ・ 2021年9月、米国での新型コロナウイルスの感染再拡大や、中国の大手不動産会社の債務問題などで投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。
- ・ 2022年1月、FOMCで2022年3月の利上げ開始が示唆され、金融引き締めに向きな方針が示されたこと。
- ・ 2月、ロシアがウクライナへの軍事侵攻を開始し、投資家のリスク回避姿勢が強まったこと。

○投資環境

期中の世界株式市場は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大やワクチン接種の進展状況、および各国の金融・財政政策の行方などに左右される展開となりましたが、上昇しました。

為替市場は、米ドル円、ユーロ円ともに上昇（円安）しました。

○当ファンドのポートフォリオ

前回の運用方針を元に当期間は以下のような運用を行ないました。

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

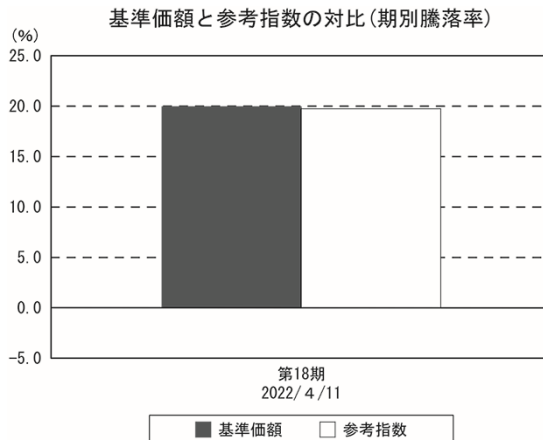
- (1) 世界の水関連企業の株式を主体に投資を行なうことを基本としました。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、高い成長が期待される企業、または安定した収益が期待される企業の株式を、ボトムアップの観点で調査・分析し、バリュエーション（投資価値評価）を勘案して、投資銘柄を選定しました。
- (3) セクター、地域別では、
 - ①「装置製造・エンジニアリングセクター」と「上下水道ビジネスセクター」を中心に投資しました。
 - ②「装置製造・エンジニアリングセクター」については、バリュエーションの観点から割高な銘柄を売却した一方で、継続的な利益成長が期待できる企業に投資しました。
 - ③上下水道ビジネスセクターについては、地方自治体の上下水道インフラの長期的更新への高い需要など水道公益関連市場の拡大や、経済再生に伴う廃棄物処理事業の成長が寄与すると見込まれる銘柄などに投資しました。
 - ④環境マネジメント・サービスセクターの銘柄の組み入れ比率を上げました。
 - ⑤水関連事業の比率が高く、健康や人口増加、産業の発展に焦点を当て、汚染化学物質の浄化に優位性がある米国の水処理装置やサービスを提供する企業を新規に組み入れました。一方で、ファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）やバリュエーションなどの観点から装置製造・エンジニアリングセクターに属する、米国の上下水道関連会社の株式を一部売却しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）の19.7%の上昇に対し、基準価額19.9%の上昇となりました。当ファンドは、世界の水関連企業の株式を主体に投資を行っており、投資している業種や銘柄には特色があります。このためMSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）とは異なった動きをしておりません。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド インデックス フリー（円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

2022年の見通しについては、ロシアのウクライナ侵攻による地政学的リスクの高まりやロシアに対する各国の制裁措置などから、これまでのインフレ傾向に加えて、原油など原材料を含めた物価上昇が続くなど、政治的にも経済的にも不透明感が増しています。世界各国のPMI（購買担当者景気指数）や企業の景況感に対して、与える影響を予測しにくい状況が当面続くものと思われます。価格上昇圧力の持続性、FRB（米連邦準備制度理事会）やECBによる金融緩和策縮小や利上げのタイミングや程度、さらにそれらが株式のバリュエーションに与える影響等を注視して参ります。

一方で、昨年からの動向として、新型コロナウイルスのワクチン接種の進展などに伴う経済活動の再開の動きから、主要国の経済指標や企業の景況に改善が見られ、今後の市場の下支えとなると考えています。今後は、ウクライナ情勢、FRBやECBの金融政策動向、経済指標や企業決算などをにらみつつ、株式市場は当面不安定な状況が続くと見られ、その動きを慎重に見極めていく必要があります。

中長期的に見ると、水関連インフラへの投資は必要不可欠であり、世界的に事業展開を行なう水関連銘柄のファンダメンタルズは堅調であると考えます。温暖化の影響から世界的な気候変動によって引き起こされる干ばつや洪水の問題なども、水関連インフラへの投資を呼び起こしています。経済活動の支えだけではなく、人々の生活を支える水関連銘柄は引き続き魅力的な投資対象であると考えています。

こうした環境の中、個別銘柄の選択に重点をおいた運用を継続します。足元の市場のボラティリティ（価格変動性）の高まりは個別銘柄のミスプライス（誤った値付け）をもたらし、魅力的な投資機会を与えるものと考えます。引き続き装置製造・エンジニアリングセクターと上下水道ビジネスセクターを中心としたバーベル型の運用（景気回復に伴って業績の回復が期待されるセクターと景気に左右されにくく、安定した業績を維持するセクターの保有）を行なっていきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月13日～2022年4月11日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 11 (11)	% 0.014 (0.014)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	9 (9)	0.012 (0.012)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	20 (19) (1)	0.026 (0.025) (0.001)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	40	0.052	
期中の平均基準価額は、77,474円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月13日～2022年4月11日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 0.9	千円 2,353	千株 8	千円 19,145
	アメリカ	百株 2,554 (48)	千米ドル 16,443 (-)	百株 2,448	千米ドル 19,542
外 国	カナダ	8	千カナダドル 49	64	千カナダドル 384
	イギリス	1,182 (△ 573)	千英ポンド 2,232 (-)	1,319	千英ポンド 1,998
	スイス	4	千スイスフラン 297	10	千スイスフラン 650
	スウェーデン	13	千スウェーデンクローナ 428	65	千スウェーデンクローナ 2,128
	デンマーク	131	千デンマーククローネ 5,977	10	千デンマーククローネ 508
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	164	1,229	0.4	3
	イタリア	791	283	260	88
	フランス	414 (1,983)	1,084 (843)	808 (1,666)	1,804 (123)
	オランダ	78	427	39	195
香港	1,790	千香港ドル 3,806	2,164	千香港ドル 4,294	
韓国	38	千ウォン 305,910	19	千ウォン 136,564	

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

* ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2021年4月13日～2022年4月11日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	6,004,887千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	14,048,329千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42

* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月13日～2022年4月11日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年4月11日現在)

国内株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期		末
		株 数	株 数	評 価	額
		千株	千株	千円	
機械 (100.0%)					
	クボタ	73	65.5	148,685	
合 計	株 数 ・ 金 額	73	65.5	148,685	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	< 1.0% >	

*各銘柄の業種分類は、期首、期末の各時点での分類に基づいています。

*銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

*評価額の単位未満は切り捨て。

外国株式

銘	柄	期首(前期末)	当 期			業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		百株	百株	千米ドル	千円	
AECOM		75	225	1,703	212,270	建設・土木
ADVANCED DRAINAGE SYSTEMS INC		163	142	1,538	191,692	建設関連製品
AGILENT TECHNOLOGIES INC		155	197	2,662	331,823	ライフサイエンス・ツール/サービス
AMERICAN STATES WATER CO		117	108	971	121,089	水道
AMERICAN WATER WORKS CO INC		303	354	6,027	751,228	水道
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP		172	159	937	116,864	水道
CIA SANEAMENTO BASICO DE-ADR		2,342	2,171	2,356	293,704	水道
CORE & MAIN INC-CLASS A		—	488	1,131	141,057	商社・流通業
DANAHER CORP		245	225	6,735	839,448	ライフサイエンス・ツール/サービス
ECOLAB INC		146	146	2,676	333,602	化学
ESSENTIAL UTILITIES INC		462	608	3,131	390,232	水道
EVOQUA WATER TECHNOLOGIES CO		—	104	469	58,493	機械
FORTUNE BRANDS HOME & SECURITY INC		321	266	1,939	241,723	建設関連製品
GFL ENVIRONMENTAL INC - SUB VT		365	645	2,102	262,005	商業サービス・用品
HAYWARD HOLDINGS INC		308	70	117	14,705	レジャー用品
IDEX CORP		172	142	2,808	350,024	機械
LESLIE' S INC		469	545	1,130	140,849	専門小売り
MASCO CORP		503	245	1,244	155,109	建設関連製品

銘柄	株数	当期		期末		業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
MIDDLESEX WATER CO	62	77	790	98,575		水道
PERKINELMER INC	129	142	2,449	305,263		ライフサイエンス・ツール/サービス
POOL CORP	64	48	2,027	252,662		販売
REPUBLIC SERVICES INC-CL A	365	357	4,853	604,905		商業サービス・用品
REXNORD CORP	154	—	—	—		機械
ROPER TECHNOLOGIES INC	59	50	2,425	302,320		コングロマリット
SITEONE LANDSCAPE SUPPLY INC	70	58	884	110,283		商社・流通業
SMITH (A.O.) CORP	332	164	1,031	128,596		建設関連製品
TETRA TECH INC	53	77	1,206	150,338		商業サービス・用品
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	93	81	4,971	619,654		ライフサイエンス・ツール/サービス
TORO CO	192	144	1,236	154,115		機械
TRIMBLE INC	252	209	1,511	188,422		電子装置・機器・部品
WASTE CONNECTIONS INC	303	322	4,671	582,268		商業サービス・用品
WASTE MANAGEMENT INC	238	249	4,122	513,742		商業サービス・用品
XYLEM INC	346	255	2,214	275,950		機械
ZURN WATER SOLUTIONS CORP	—	180	641	79,926		建設関連製品
PENTAIR PLC	463	395	2,106	262,484		機械
小計	株数・金額	9,510	9,664	76,830	9,575,433	
	銘柄数<比率>	32	34	—	<66.3%>	
(カナダ)			千カナダドル			
STANTEC INC	328	272	1,691	167,367		専門サービス
小計	株数・金額	328	272	1,691	167,367	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.2%>	
(イギリス)			千英ポンド			
HALMA PLC	297	316	801	130,066		電子装置・機器・部品
PENNON GROUP PLC	1,714	—	—	—		水道
SEVERN TRENT PLC	822	947	2,966	481,721		水道
UNITED UTILITIES GROUP PLC	1,822	1,971	2,300	373,469		水道
FERGUSON PLC	304	300	2,986	484,817		商社・流通業
PENNON GROUP PLC	—	1,296	1,402	227,785		水道
HOMESERVE PLC	582	—	—	—		商業サービス・用品
小計	株数・金額	5,544	4,833	10,457	1,697,860	
	銘柄数<比率>	6	5	—	<11.7%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GEBERIT AG-REG	60	55	3,076	410,346		建設関連製品
小計	株数・金額	60	55	3,076	410,346	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.8%>	
(スウェーデン)			千スウェーデンクローナ			
ALFA LAVAL AB	535	483	15,435	203,903		機械
小計	株数・金額	535	483	15,435	203,903	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<1.4%>	
(デンマーク)			千デンマーククローネ			
NOVOZYMES A/S-B SHARES	244	365	17,316	316,034		化学
小計	株数・金額	244	365	17,316	316,034	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<2.2%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BRENTAG SE	—	163	1,173	159,316		商社・流通業
小計	株数・金額	—	163	1,173	159,316	
	銘柄数<比率>	—	1	—	<1.1%>	

銘柄	株数	株数	評価額		業種等
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…イタリア) HERA SPA	百株 3,212	百株 3,743	千ユーロ 1,363	千円 185,059	総合公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,212 1	3,743 1	1,363 -	185,059 <1.3%>
(ユーロ…フランス) VEOLIA ENVIRONNEMENT SUEZ	1,330 581	1,835 -	5,034 -	683,420 -	総合公益事業 総合公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,911 2	1,835 1	5,034 -	683,420 <4.7%>
(ユーロ…オランダ) AALBERTS NV	281	320	1,458	198,073	機械
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	281 1	320 1	1,458 -	198,073 <1.4%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,406 4	6,063 4	9,029 -	1,225,869 <8.5%>
(香港) GUANGDONG INVESTMENT CHINA LESSO GROUP HOLDINGS LTD HAIER SMART HOME CO LTD-H	7,428 4,260 4,256	6,928 4,480 4,162	千香港ドル 7,011 4,350 10,259	111,479 69,166 163,123	水道 建設関連製品 家庭用耐久財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,944 3	15,570 3	21,620 -	343,769 <2.4%>
(韓国) COWAY CO LTD	168	186	千ウォン 1,233,804	124,984	家庭用耐久財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	168 1	186 1	1,233,804 -	124,984 <0.9%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	37,742 50	37,494 51	- -	14,065,570 <97.3%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2022年4月11日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 14,214,255	% 92.4
コール・ローン等、その他	1,174,364	7.6
投資信託財産総額	15,388,619	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産 (15,009,370千円) の投資信託財産総額 (15,388,619千円) に対する比率は97.5%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=124.63円、1カナダドル=98.96円、1英ポンド=162.36円、1スイスフラン=133.37円、1スウェーデンクローナ=13.21円、1デンマーククローネ=18.25円、1ユーロ=135.76円、1香港ドル=15.90円、1ウォン=0.1013円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年4月11日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	16,162,132,642
コール・ローン等	1,128,467,261
株式(評価額)	14,214,255,171
未収入金	808,501,698
未取配当金	10,908,512
(B) 負債	1,710,191,769
未払金	856,091,369
未払解約金	854,100,000
未払利息	400
(C) 純資産総額(A-B)	14,451,940,873
元本	1,763,130,739
次期繰越損益金	12,688,810,134
(D) 受益権総口数	1,763,130,739口
1万口当たり基準価額(C/D)	81,967円

(注) 期首元本額は1,811,875,567円、期中追加設定元本額は288,803,092円、期中一部解約元本額は337,547,920円、1口当たり純資産額は8,1967円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Bコース 1,346,348,628円
 ・ワールド・ウォーター・ファンド Aコース 416,782,111円

○損益の状況 (2021年4月13日～2022年4月11日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	281,389,440
受取配当金	279,813,182
受取利息	2,076
その他収益金	1,898,195
支払利息	△ 324,013
(B) 有価証券売買損益	2,199,838,094
売買益	3,162,052,809
売買損	△ 962,214,715
(C) 保管費用等	△ 3,784,552
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,477,442,982
(E) 前期繰越損益金	10,571,322,324
(F) 追加信託差損益金	1,904,496,908
(G) 解約差損益金	△ 2,264,452,080
(H) 計(D+E+F+G)	12,688,810,134
次期繰越損益金(H)	12,688,810,134

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。